



Student News

挨拶は人に好かれる魔法の言葉
話の前に心あり、話の後に実行あり ～挨拶、姿勢、実行～

アドバンスコース「秋鹿理事長による特別授業」 貴重な経験ができた

東工大名誉教授であり本校理事長の秋鹿研一先生による特別授業がアドバンスコースの2年生を対象に行われました。特別授業は全5回行われ、その内容は理事長先生が生涯をかけて研究するアンモニアについても触れられました。理事長先生はアンモニア合成を通して人類を支える研究者であり、最近では国の科学技術プロジェクトのまとめ役でSDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けた再生可能エネルギー水素を用いた新しいアンモニア合成システムの研究開発を行っており、秋鹿先生はその研究にあたる全国の研究者たちの司令塔として活躍されています。



講義では、「温暖化とは何か?」「私たちはどうすれば良いのか?」「未来社会への展望は?」など、エネルギー移動の原理を体感し、二酸化炭素が地球からの熱を吸収するモデルを実習しました。授業に参加した三須美羽さん(片浜中出身)は「理事長先生が研究されているアンモニアについての内容は難しい部分もありましたが、手先で体験をしたり質問をしてくださったりと対話形式であったため、毎回記憶に残る貴重な体験ができました」と話してくれました。

食物部「高校生レシピコンテスト」 製菓部門入選

1月9日(月)に行われた大阪調理製菓専門学校主催の「高校生レシピコンテスト～岸和田市ブランドにんじん彩(あやほまれ)～」に本校の食物部の2年生3名が出場しました。調理科と専修学校の生徒さんたちが多く出場している中で、本校の食物部が健闘しました。「甘酒を使うなど、目のつけどころが良かった」「にんじんと甘酒の美味しさが出ており、和食のデザートに出しても良いくらい」などと、講評をいただきました。部長の河野遥奈さん(2年・吉原第二中出身)は、「岸和田生まれのプレミアムにんじんを使った“にんじん甘酒ゼリー”のレシピを考案しました。優勝は出来ませんでしたが、良い思い出が出来て良かったです」と話してくれました。



医療・福祉コース「学習成果発表会」 先輩の姿を見習って

2月6日(月)に医療・福祉コースの生徒が学習成果発表会を行いました。学習成果発表会は日々の学習で得た知識・技術をまとめ、成果として発表する場で、新型コロナウイルスの流行によりここ数年は縮小・録画報告として実施していましたが、今年度は学習の総まとめの場として実施することができました。3年生の発表を聞いた2年生の武田理愛さん(中郷中出身)は、「色々な視点から考察することができ、改めて思いやりが大切だと感じました」と話してくれました。14日には2年生から1年生に向けた発表が行われ、3年生から2年生へ、2年生から1年生へと学習成果が伝達されました。



100th ANNIVERSARY 沼津中央高等学校
受け継がれる思い、変わらないものが中央にある

創立百周年スローガン: 中西布羽さん(沼津第四中出身)、山本琉加君(中郷中出身)
書: 書道部 山田美羽さん(原里中出身)
創立百周年ロゴ制作: 矢崎里美 教諭(美術)



卒業生デザインのロゴ

